

## お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を  
心から歓迎いたします。  
誕生日おめでとうございます。

■ 12月にお誕生日を迎える皆さん、心からお祝いをいたします。(敬称略)

1日 韓 芽唯・2日 島村 由美子・14日 北原 明子  
15日 柳 香心・24日 熊谷 冬奈

### 教会の働き

■ 今日夕方賛美礼拝の後に教会運営会議があります。

🎄 子どもクリスマス会のお知らせ 🎄

日時:12月13日(土)10:30 集合/10:45 開始

今年も楽しいプログラムを準備しています!

クリスマスソング・クリスマスのおはなし・ビンゴゲーム・  
ランチ(カレーライス)・デザートバイキング・クリスマスプ  
レゼント 📺 対象:0歳~小学生(親子参加も歓迎!)

たくさんのお友だちの参加をお待ちしています

■ クリスマス主日礼拝&教会クリスマス会

21日(日)午前の主日礼拝では、主イエス様のご降誕を  
心から礼拝し、午後はみんなで喜びのクリスマス会を行  
います。プレゼント交換があります。(1,500 円のものを  
ご準備を)

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の  
皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々  
木こずえ執事の家庭など)



### 教会—

神によって感謝する人々  
ハバクク 3:16-19

16 その音を聞いたとき、私のはらわたはわななき、唇は震えました。腐れは私の骨の内に入り、足もとはぐらつきました。攻めて来る民に臨む苦しみの日を、私は静かに待ちます。17 いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木には実りがなく、オリーブの木も実がなく、畑は食物を生み出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。18 しかし、私は【主】にあって喜び躍り、わが救いの神にあって楽しもう。19 私の主、【神】は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。指揮者のために。弦楽器に合わせて。

### 来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 松島スヤンティ(祈禱)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 高木はつ江(祈禱)

水曜礼拝 韓芽唯(司会) 鈴木真由美(祈禱)

### 礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50~10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈禱会・火・木曜日	PM 8:30~9:30
土曜日	PM 8:00~9:00

週報 2025-49 号

2025.12.07

ことばは人となり、  
私たちのうちに住まわれた  
主のご降誕の恵みを覚え、  
共に喜びましょう。

宗教法人 イエス・キリスト

## 飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝		AM 11:00～
	賛美リード	柳澄香
信仰告白	(使徒信条)	
代表祈禱		熊谷茂美
特別賛美	インマヌエル聖歌隊 ハッピーチーム	
聖書箇所	ハバクク 3:16-19 (教会一神によって感謝する人々)	
メッセージ		柳承吉牧師
賛美	神の家族	
祝禱		柳承吉牧師

夕方賛美礼拝		PM 2:30～
	賛美リード	柳澄香
代表祈禱	松島スヤンティ	
聖書箇所	ローマ書 5:6-11 (神の愛の確証 2)	
メッセージ		柳 承吉牧師
主の祈り		

水曜礼拝		PM 7:00～
司会		北原孝子
代表祈禱		柳澄香
聖書箇所	ローマ書 8:15-17	
メッセージ	ローマ書 8 章の概略(6)	柳承吉牧師
主の祈り		

今週の御言葉	ハバクク 3 章 16～19 節
「教会一神によって感謝する人々」	
今日のハバクク書 3 章は、「恐れ」「欠乏」「絶望」のただ中で、なお神に感謝し、喜びを選ぶ信仰を示します。ハバククは、バビロンの侵略という国家的破滅、個人的恐怖のど真ん中でこう言いました。「しかし、私は主にあって喜び躍り、わが救いの神にあって楽しもう。」この信仰こそ、神の民がもつ「絶対的感謝」、「それにもかかわらず感謝する信仰」です。	
1. 私たちの現実には、恐れと欠乏がある	
預言者ハバククは、バビロンの侵略が迫る現実の中で、はらわたが震え、唇が震え、骨の中が腐るように感じ、足が震えると語ります(16 節)。国は乱れ、社会は暴力と不正に満ち、信仰は墮落し、希望が見えない状況でした。17 節には、いちじく、ぶどう、オリーブ、畑の収穫、羊、牛、生活の喜びも、経済も、生計の手段も、将来の保証も「すべて失われる」姿が描かれています。これは単なる比喩ではなく、本当に何も無い状況です。	
ハバククは、自分の恐れを正直に神に告白しました。神の前に弱さを隠さず、今の自分を差し出すところから、信仰の歩みは始まります。	
2. 救いの神が共におられるゆえに、感謝と喜びを選ぶ	
18 節で「しかし、私は主にあって喜び躍り、わが救いの神にあって楽しもう。」「しかし」という言葉には、持っているから喜ぶのではなく、状況が整ったから感謝するのではなく、神が共におられるから喜ぶ。これが信仰の本質です。ハバククが「主によって喜ぶ」と語った時、彼の現実は何ひとつ変わっていませんでした。しかし、彼の見	

る対象が変わったのです。欠乏→神ご自身・不安→神の救い・恐れ→神の臨在。感謝とは感情ではなく、選択です。「感謝する」と決断することに、信仰が働きます。
そしてこの感謝は、私たちの心に希望を生み、絶望の中に光を灯します。
3. 神が力を与え、回復と勝利へ導いてくださる
「主なる神は私の力。私の足を雌鹿のようにし、高い所を歩ませる。」神は、私たちの外側の状況をすぐに変えるとは限りません。しかし、その状況を歩むために必要な力を内側に与えてくださいます。神は、恐れの中で倒れない力、困難の中で前に進む敏捷さ、試練の中でも信仰を保つバランスを与えてくださいます。さらに「高い所を歩ませる」とは、勝利の場所、安全な砦、神が引き上げてくださる高みを象徴します。ハバククは現実の破滅ではなく、神がくださる未来の勝利を望み見たのです。
そして、この言葉は「指揮者のために。弦楽器に合わせて」と締めくくられます。つまり、これは共同体全体で歌った賛美であり、賛美が民の信仰を一つにし、立ち上がらせたのです。賛美は、倒れた心を立ち上がらせる神の力です。ハバククの歩みは三つの告白でまとめられます。「私は恐れます」(16)自分の弱さを正直に神に差し出す。「それにもかかわらず、私は喜びます」(18)神を見て感謝を選ぶ。「主は私の力です」(19)神が回復と勝利へ導いてくださる希望。
これは、今日の教会にも求められる信仰です。少なくとも感謝する教会。試練の中でも賛美する教会。揺れ動く世界の中でも揺るがない教会。「現実」は変わらなくても、私たちの視線は変えることができます。主がそのような信仰であなたを満たしてくださいますように。